

Samyang

14mm F2.8 ED AS IF UMC Lens

取扱説明書

14mm F2.8 ED AS IF UMC IF レンズの特徴

- 1、このマニュアルレンズは、APS-Cサイズのデジタル一眼レフカメラ・35mm銀塩一眼レフカメラにも対応しています。APS-Cサイズのデジタル一眼レフカメラに装着しますと、焦点距離が約1.5倍になります。
 - 2、複合非球面レンズにより、完全開放時のレンズ収差を補正し、レンズ中心部だけでなく周辺部においても、高解像、高コントラストな性能を生み出しています。
 - 3、高品質光学レンズを使用し、最適な屈折率、分散特性を実現しています。
 - 4、スムーズな操作性により、繊細なピント合わせができます。
 - 5、花型フードやマルチコーティング技術により、フレアやゴーストを軽減します。
 - 6、インナーフォーカスを採用し、コンパクトなサイズを実現しています。各レンズマウントは、メーカーに合わせて設計されています。アダプターなどを使用せず、直接カメラに装着でき、撮影を行うことができます。
- 取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。
※ご使用前に、「レンズ安全上のご注意」をご覧ください。

本説明書では、危険をその内容、程度に応じ、次の2種類に分けています。

警告

この指示に従わないで誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

注意

この指示に従わないで誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性があります。また、物的損害が発生する可能性があります。

本説明書では、次のような絵表示を使用しています。

- △は、注意が必要な内容があることを示しています。図の中に描かれているのは注意の内容です。（左図は発火注意）
- ⊘は、禁止を示しています。図の中に描かれているのは禁止の内容です。（左図は分解禁止）
- は、指示を示しています。図の中に描かれているのは指示の内容です。（左図は注意する旨の指示）

■ レンズ安全上のご注意

安全のため、ご使用前には必ずこの「レンズ安全上のご注意」をよくお読みになり、それぞれの注意事項をお守りください。

警告

- ⊘ レンズで直接太陽をのぞかないでください。失明の原因となります。



- ⊘ レンズは幼児の手の届くところには置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガをするおそれがあります。また、ストラップが首に巻付くと、窒息するおそれがあります。



注意

- ⊘ 日光が直接当たるところにレンズを置かないでください。レンズによって近くの物に集光し、火災が発生するおそれがあります。



- レンズをカメラに装着する時は、レンズをカメラに正しくセットし、きちんとロックされたことを確認してください。正しく装着されていない場合、レンズがはずれなくなったり、はずれて落下するおそれがあります。レンズは精密機械です。扱いは十分に注意してください。レンズに強い振動や衝撃、あるいは圧力を加えたりしますと、精密に調整された部分に故障が発生します。落としたり、ぶついたりしないように注意してください。



注意

- ⊘ カメラに装着したレンズに無理な過重をかけないでください。レンズおよびカメラ側のマウント部分が損傷するおそれがあります。



- ⊘ レンズを改造、変造しないでください。レンズやカメラの故障の原因になります。改造、変造したレンズは修理が受けられない場合があります。また、ゴミや泥、砂、ホコリ、水、有害ガス、塩分などがレンズの中に入ると、故障の原因になりますからご注意ください。



- レンズを外したときは、レンズ面を傷つけないように、必ず前と後のキャップを付けてください。レンズ面には直接指でふれないでください。レンズ面についた汚れは、市販のレンズクリーナーをご使用ください。クリーナーで拭き取るときは、レンズ面の中心から外側に渦巻き状に拭いてください。



- 長期間使用しないときや、結婚式や海外旅行など大切な写真を撮る時には、必ず事前にレンズをチェックしたり試し撮りをしたりして、失敗を防ぐようにしてください。レンズは精密機械ですから、定期点検（1～2年に1度程度）あるいはオーバーホール（3～5年に1度程度）をお勧め致します。なお、定期点検等は当社のサービス機関、またはお買い上げの販売店にご依頼ください。



- 有害光線を除去するために、レンズフードを装着して撮影してください。※一部のフィルターを装着した場合、フードが取り付けられない場合があります。

- ※ストロボ使用時、フードによるケラレが発生する場合があります。スキー場のゲレンデとロッジなど寒暖の差のはげしい所で使用しますと、温度差によって結露が生じ故障の原因となり、修理不可能になるか修理費用が多くなることとなりますのでご注意ください。バッグなどに入れてできるだけ温度変化を緩やかにして、温度差がなくなってから取り出すようにしてください。レンズを40℃以上の高温下、あるいは-10℃以下の低温下の場所に長く置きますと、ボディが変形したり、正常に作動しない場合がありますのでご注意ください。



- ⊘ このレンズは防水機構になっておりません。水没させないようにご注意ください。水没品は、ほとんど修理不能になりますので取り扱いに十分ご注意ください。レンズ本体やレンズ面に水滴や泥、砂などがついていいる時は水滴をぬぐい、砂などをブローアなどできれいに落としてから静かにレンズをカメラからはずし、さらに、マウント側の水滴をぬぐい、泥、砂などもブローアなどできれいに落としてください。とくに海辺などで使用した後は、塩分が残らないように十分拭いてください。水滴などがついたまま放置しますと、毛細管現象により水がレンズ内部にしみ込んでいき故障の原因になりますのでご注意ください。



注意

- ⊘ ● 当社以外で分解・改造されたもの、あるいは保存上の不備または誤った使用による故障、落下衝撃による故障、浸・冠水、砂入り品などは保証期間中であっても修理は有料となります。また、損傷が著しく製品の性能復元ができかねる場合、修理不能となることがありますのでご了承ください。
- ● 万一故障などした場合は、レンズをご自分で修理しないでそのままの状態、保証書と一緒に買い上げ店か当社までお持ちください。
- ● 保証期間経過後の修理は、原則として有料となります。また、運賃諸掛りはお客様にご負担願います。
- ● お取り扱い上の不注意（使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水かき、砂・泥の付着、レンズ内部への水・砂・泥の入り込みなど）、お手入れの不備（カビ発生など）により発生した故障は有料修理または修理不能になる場合があります。
- ● 当社製品の補修用性能部品は、5年間を目安に保有しております。したがって、保証期間中は原則として修理をお受けいたします。なお保有期間後であっても修理可能な場合もありますので、買い上げ店か当社にお問い合わせください。
- △ ● 本製品の故障に起因する付随的障害（撮影に要した諸費用および撮影により得られる利益の損失など）については、補償いたしかねます。
- ⊘ ● 本製品は写真撮影のための製品であり、それ以外の使用目的で使用された時の故障および付随的障害については、ご容赦ください。
- ● レンズのマウント仕様変更はできません。
- ● この使用説明書に記載された外観・スペックおよび付属品は、予告なく変更することがあります。

1. 各部の名称



2. レンズの着脱方法

このレンズは、ニコン、ペンタックス、ソニー（ミノルタ）、キヤノン、オリンパスそれぞれのマウントに専用設計されています。

【取り付け方】

「鏡筒部」を持ちながら、「距離目盛指標」をカメラのマウント指標に合わせ、カメラに差し込みカチッと音がするまで静かに回し、「距離目盛指標」がカメラの上部に位置するようにします。

【取り外し方】

「鏡筒部」を持ちながら、カメラの「レンズ取り外しボタン」を押し、「距離目盛指標」がカメラのマウント指標に重なるまでレンズを回して、取り外します。

3. ピント合わせ

被写体にピントを合わせるときは、フォーカスリングを回して、ピントを合わせます。

フォーカスリングの回転方向は、各カメラメーカーに準じています。

4. 絞り調節

ニコンAEの場合、絞りリングを最小絞り（F22）にして、ボディ側のダイヤルで絞りを設定してください。

【絞り調節リングの表示】

①ニコン、ソニー（ミノルタ）、キヤノン、オリンパス用の場合

22 16 11 8 5.6 4 2.8

②ペンタックス用の場合

A・ 22 16 11 8 5.6 4 2.8

各数値の間隔は1EVごとになっています。

より正確な絞り調節を行う場合は、各数値の間中使用してください。

F4とF5.6は1EV間隔。

22 16 11 8 5.6 4 2.8



F4とF5.6の間は0.5EV。

22 16 11 8 5.6 4 2.8

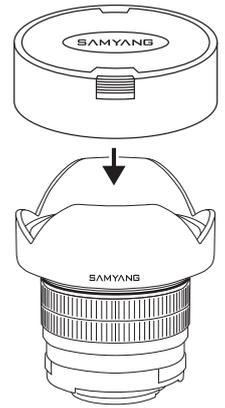


5. レンズフード

花型フードは、固定式で取り外すことはできません。

レンズキャップを嵌める時、花型フードの高い位置とレンズキャップのツメの位置が同じ方向を向くようにして、嵌めてください。他の位置では、レンズキャップは止まりません。

※レンズキャップを固定するツメが、レンズフード先端を挟む構造になっているため、レンズフードの内側に挟む跡が付きますが、撮影に影響はありません。



6. フィルター

レンズの前玉が出ているためネジ込み式フィルターを取り付けることはできません。

7. 内蔵ストロボ使用の注意

内蔵ストロボを使用して撮影しますと、内蔵ストロボの光が一部さえぎられ、画像にレンズの影が写り込むことがあります。そのような時は、デフューザーなどを併用した外付けストロボを使用してください。

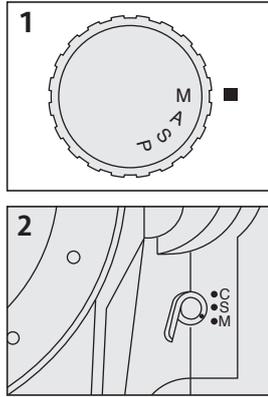
8. カメラ設定

この項目では、基本的なカメラの設定を記載しています。レンズを装着する時、カメラによって個々に設定が必要です。以下をご参照いただき、カメラの設定をしてください。詳しくは、カメラの取扱説明書を参照してください。

● ニコン用

- 1、モードを「M」に合わせます。
- 2、フォーカスモードレバーを「M」に合わせます。
- 3、MFレンズ使用時、レンズ情報（焦点距離と絞り値）を手動設定できるデジタルカメラは様々な機能が使えます。

(カメラやメニューの設定はカメラモデルやメニューのアップグレードによって変更されます。詳しくは、カメラの取扱説明書をご覧ください。)



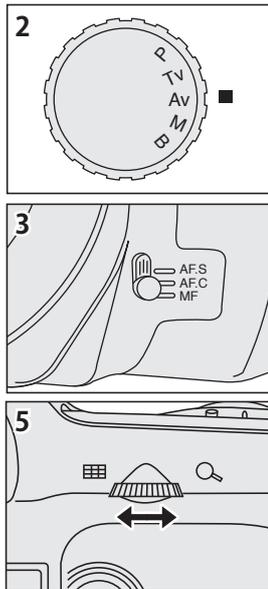
● ペンタックス用

Avモード（絞り優先モード）

ペンタックス用はAvモードに対応しています。

- 1、レンズの絞りリングに付いているAボタンを押しながら、Aモード表示を距離目盛指標に合わせます。
- 2、カメラのモードダイヤルを「Av」にセットします。
- 3、カメラのフォーカスモードレバーを「MF」にセットします。
- 4、カメラのメニューを設定します。
メニューを設定→絞りリング使用→メニュー操作不可
- 5、カメラ背面のダイヤルを回し、絞りを調節します。

(上記の操作は K20Dの場合です。カメラやメニュー画面の設定はカメラのモデルやメニューのアップグレードによって変わります。詳しくは、カメラの取扱説明書をご覧ください。)



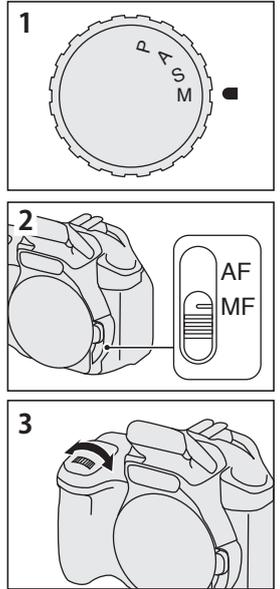
● ソニー（ミノルタ）用

ソニー（ミノルタ）用は、絞りがカメラと連動しません。

絞り値をF8以上に絞った場合、カメラのファインダーが暗くなり、正確なピント合わせができません。その時は、絞り調節リングを回し、開放絞りにセットします。そして、開放絞りでピント合わせを行ってから、任意の絞りに設定して撮影を行ってください。

- 1、カメラのモードを「M」にセットします。
- 2、フォーカスモードレバーを「MF」にセットします。

(上記の設定はα350の場合です。カメラやメニューの設定はカメラモデルやメニューのアップグレードによって変更されます。詳しくは、カメラの取扱説明書をご覧ください。)



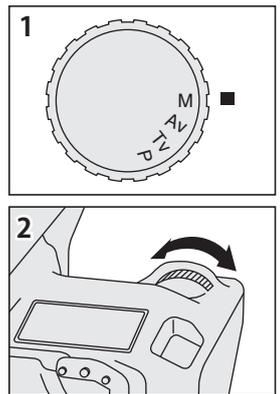
● キヤノン用

キヤノン用は、絞りがカメラと連動しません。

絞り値をF8以上に絞った場合、カメラのファインダーが暗くなり、正確なピント合わせができません。その時は、絞り調節リングを回し、開放絞りにセットします。そして、開放絞りでピント合わせを行ってから、任意の絞りに設定して撮影を行ってください。

- 1、露出モードを「M」にセットします。
- 2、設定した絞りに対し適正露出になるよう、シャッタースピードをセットします。

(上記の操作は、40Dの場合です。カメラやメニュー画面の設定はカメラのモデルやメニューのアップグレードによって変わります。詳しくは、カメラの取扱説明書をご覧ください。)



● オリンパス用

このレンズは、フォーサーズ専用レンズです。

フォーサーズサイズのため、カメラに装着すると焦点距離が約2倍（約170mm）になります。

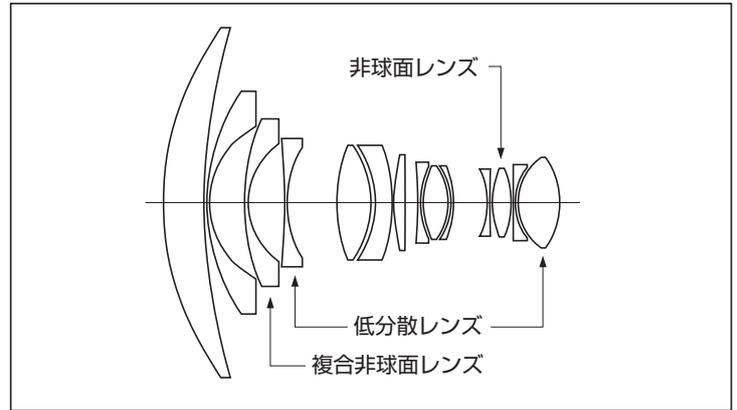
マイクロフォーサーズに装着する場合は、オリンパス純正の「E-P2/E-P1/E-PL1用フォーサーズアダプター」を併用してください。

(カメラの設定は、カメラのモデルやメニューのアップグレードによって変わります。詳しくは、カメラの取扱説明書をご覧ください。)

9. こんなとき

現象	原因	対処方法
撮影した画像が暗かったり明るすぎたりする。	露出が適正ではありません。	絞りリングを回し絞り調節を行うか、シャッター速度を調節してください。
ストロボが連動しない。	ストロボの自動調光は、マニュアルレンズ使用時には連動しません。	カメラの取扱説明書をご覧ください。
カメラのビューファインダーや、液晶画面に表示されない。	このレンズは、カメラと通信を行いません。	撮影自体には影響しません。

11. レンズ構成図



10. 性能表

焦点距離	14mm
明るさ	F2.8 - F22
フォーマットサイズ	24 x 36 mm
画角	35mm (1x) 115.7° (対角) APS-C (約 1.5x) 93.9° (対角) フォーサーズ (約 2.0x) 76.2° (対角)
最短撮影距離	0.28 m
レンズ構成	10群 - 14枚
絞り羽枚数	6枚
大きさ	Nikon : 87.0 x φ93.6 mm Pentax : 87.0 x φ94.6 mm Sony : 87.0 x φ95.6 mm Canon : 87.0 x φ96.1 mm Olympus : 87.0 x φ101.4 mm
質量	Nikon : 530 g Pentax : 530 g Sony : 534 g Canon : 552 g Olympus : 560 g

仕様や外観は製品改良のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。